

第七中学校区における市立こども園設置に関する説明(秋津まちづくり会議) 会議録

【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 6 月 17 日(土) 午後 4 時 00 分～午後 6 時 00 分 ゆいまーる習志野 1階交流スペース

【2. 出席者】

- 秋津地域住民 81 名
- 習志野市(小野寺こども政策課長・松岡同課施設係長)
- その他、まちづくり会議事務局職員

【3. 内容】

- 第七中学校区のこども園設置について

【4. 配布資料】

- [別紙] 第七中学校区における市立こども園の設置について

【5. 説明会概要】

1. 第七中学校区のこども園設置についての説明

<小野寺こども政策課長>

※別紙資料に基づき、第七中学校区におけるこども園設置について説明をしました。

※資料の説明に加え、地域バランスを考慮し、香澄幼稚園と秋津幼稚園をあわせた上、香澄幼稚園にこども園を整備することを検討していることを説明しました。

※平成 30 年度に整備し、平成 31 年度より開園すること

※秋津幼稚園の跡利用の考え方については、まあ、持ち合わせていない。お子様や地域の方々の視点に立って考えていきたい。

2. 質疑応答

<地域住民>

第七中学校区にこども園を前倒しして整備するということですが、「習志野市子ども・子育て支援事業計画」や「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所再編計画 第2期計画」など、現在策定されているものに位置付けられているのでしょうか？

<市>

7つの中学校区に1つこども園を整備することは示されておりますが、具体的に香澄幼稚園の施設にこども園を整備することは示してはおりません。

<地域住民>

平成29年度の秋津幼稚園の入園者数は増えており、香澄幼稚園は減っている状況で、香

澄幼稚園を整備してこども園化するという事は、香澄地区の児童数が増えると考えているのでしょうか？

<市>

今後、大規模な開発が行われる状況にはないことと、これまでの児童数の推移を踏まえると今後も同じような人数の推移となると考えております。また、現在、秋津地区も香澄地区も同じような子どもの数となっております。

<地域住民>

私立幼稚園の児童数、1～3歳の児童数、こども園となった時の人数も同じような人数となると考えているのでしょうか？

<市>

秋津地区も香澄地区も保育需要は高く、幼稚園の児童数も同様の人数になると捉えています。

<地域住民>

秋津地区から袖ヶ浦こども園は近いと言ってますが、子どもを連れて行く保護者からすると距離が遠いと思いますが、簡単に距離が近いと言えるのでしょうか？

<市>

秋津地区でも香澄地区でも同様な意見が出ております。本来は、第七中学校あたりにこども園を作るのが理想ですが、子どもたちの状況を見ると、今、決断しないと将来の子どもたちのためにならないと判断し、速やかに対応するため、配置バランスを考え、暫定的ではありますが香澄幼稚園を選択いたしました。

<地域住民>

香澄より袖ヶ浦が近いと思いますが、実際、袖ヶ浦こども園を選択した場合、通園することはできますか？

<市>

学区的には問題はありません。保育園は定員に対する充足率は100%となっておりますが、幼稚園は100%に達していないので定員を超えて入れないということはありません。

<地域住民>

幼稚園の定員は175名となっているのに、なぜ90名なのでしょう？

<市>

定員設定がかなり前に設定した数であると思いますが、受け入れられる数として暫定

的に各30名で児童を預かっていきたいと考えております。

<地域住民>

秋津幼稚園の跡利用について、地域コミュニティスクールで活動の場を広げたいと考えていますが、跡地利用について地域の要望を聞いてもらいたい。

<市>

子供たちのために何か活用できないかと実は、考えております。具体的に検討しているものではありませんが、幼稚園の跡利用として、例えば、学習支援や地域が全体でこどもを育てる施設など考えていかなければならないのではと考えております。

<地域住民>

秋津に住んでいて秋津コミュニティスクールにお世話になっています。秋津幼稚園も秋津コミュニティスクールに非常にお世話になっています。いろんな地域から生徒も来ています。この地域を気に入って3年保育を選ばず、秋津幼稚園を選択している人もいるのにそのような声を無視して早急にこども園化さらに香澄に整備するのはおかしいと思います。香澄でもなく袖ヶ浦でもなく秋津であることを考えてほしいです。

<市>

そのような声は秋津地区でも香澄地区でも上がってきます。答えにはなっていないかもしれませんが、秋津を選択してもらっているのはうれしいことですが、どこの幼稚園であっても選択していただけるように環境整備をしていかなければいけないと考えています。

<地域住民>

幼稚園がなくなることで子どもが町の外に出ていくことにつながり、秋津の町が衰退していくこととなります。教育機関がなくなることは非常に怖いことであると考えます。

<市>

ここ数年の幼稚園の入園状況を見ると、このまま放っておくことはできないものと考えております。また、小学校入学前のつながり教育をきちんと行っていかななくてはいけないとも考えております。就学前の教育は、袖ヶ浦や香澄といったところに行くこととなりますが、小学校は秋津に戻ってきます。小学校の統廃合は議論も検討もしておりません。今回のこども園化は小学校の統廃合とは全く切り離して考えていただきたいと思っております。

<地域住民>

集団教育の重要性も理解できますが、少人数だから受けられていた教育もあります。そのあたりも理解してほしいです。また、来年入園する子から影響があるとのことですが、現在、下の子を秋津幼稚園に入れたいと考えている保護者にとって香澄は遠いです。時期については、もう少し考慮してほしいと思います。

<市>

現在のところ、平成31年4月開園を目指していますが、この時期を考慮すると来年度の幼稚園募集を開始する今年10月の募集要項には具体的なこども園化について示す必要があります。

<地域住民>

来年度の秋津幼稚園の募集はないのでしょうか？

<市>

平成30年度の募集はしますが、5歳になった平成31年度時点で、香澄か袖ヶ浦こども園などに移っていただくということで募集することになります。

<地域住民>

すいぶん早急な話です。秋津幼稚園の保護者に説明しても納得しません。もう少し長期的考えてほしいと思います。

<市>

5月23日の説明会だけで終わるつもりはありません。保護者もいろいろ思うところがあり、どこまで受け入れられるかということはありませんが、教育の観点からしっかりお伝えすべきことはお伝えして、子どもたちにとって何が最もよいのかということ念頭に組み組んでいきたいと思っています。

<地域住民>

平成33年度以降の計画を前倒して平成31年度に整備するということと、跡地に子ども用の施設を作るような話をしていたが、どういう目的なのでしょう？秋津地区は買い物難民などの高齢者対策などいろいろな問題があります。そのような状況の中で子ども用の施設を作るのは、何となく、シナリオが出来ていて進めているように思えるのですが。

<市>

跡地利用については、現在、何も検討していないのが事実です。小学校に併設されている施設なので売却もできません。単純に有効活用を図りたいという考えであります。

<地域住民>

跡地の活用については、今後、地元の声聞いてもらえるという解釈でよいのでしょうか。

<市>

そのとおりです。

<地域住民>

跡地の利用については、具体的なタイムスケジュールはあるのでしょうか？

<市>

具体的なタイムスケジュールについては持ち合わせていません。

<地域住民>

0歳からのこども園を整備するなど待機児童対策をしないのでしょうか？

<市>

既存施設を活用する観点から3歳児からのこども園を整備することしております。

<地域住民>

香澄幼稚園をこども園化する場合、通園しながら改修工事をするのでしょうか？

<市>

エアコン設置やトイレ改修、一部床の張替などであり、大規模な改修は行いません。時期は夏休みを中心に行う予定です。

【その他】

- ・資料について、こども園の話なのに、幼稚園の内容しか記載されていません。保育所の内容も入れた資料を提出してほしいと思います。
- ・本日は、会場を18時までしか借用しておりません。この内容については、地域の方々からいろいろ意見があると思いますので、改めて時間を作り、説明をしてほしいと思います。

《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)